

報道関係各位

2023年7月14日

考古学の最新知見を市民に届けて27年目
帝塚山大学考古学研究所「市民大学講座」が500回目の開催
「聖徳太子と橘寺」 清水昭博(帝塚山大学考古学研究所長・附属博物館長)
7月22日(土) 14:00～ 帝塚山大学 東生駒キャンパス

7月22日(土)、帝塚山大学(学長:奥村由美子 所在地:奈良市帝塚山7-1-1)考古学研究所(所長:清水昭博/文学部教授・附属博物館長)が主催する「市民大学講座」が、500回目を迎えます。

帝塚山大学考古学研究所の前身となる帝塚山考古学研究室は1965年に設立。翌年の1966年12月には、学生が考古学の専門家に接し、多様な専門分野の話を聞く機会をめざして「考古学談話会」と称する講座が始められました。その後、同研究室は学園附置への改組を経て、**1997年10月に帝塚山大学考古学研究所として新たに発足し、同時に「考古学談話会」の後継となる「市民大学講座」がスタートしました。同講座は、コロナ禍で対面講座が困難になったときも、オンライン講座で継続して考古学の最新の知見や話題を市民の皆様にお届けしてきました。**

記念すべき500回は、「聖徳太子と橘寺」と題し、文学部の清水昭博教授(考古学研究所長・附属博物館長)が講演。瓦や遺跡の発掘調査などの考古学的な知見をもとに、聖徳太子と太子の生誕の地とされる橘寺との関係を探ります。

第500回 市民大学講座「聖徳太子と橘寺」

講師 清水 昭博 (文学部教授・帝塚山大学考古学研究所長・附属博物館長)

日程 令和5(2023)年7月22日(土) 14:00～15:30

開催場所 帝塚山大学 東生駒キャンパス 1号館1301教室(奈良市帝塚山7-1-1)

定員 100名(受付終了) 受講料 無料

【考古学研究所と市民大学講座の歴史】

- 1965年 帝塚山考古学研究室設立
- 1966年12月 考古学談話会が始まる
- 1982年6月 帝塚山考古学研究室が帝塚山考古学研究所
(学園附置)に改組、7月から研究所が発足し、
堅田直教授が初代研究所長となる
- 1996年12月 考古学談話会が555回記念講演を最後に会を終了
- 1997年10月 帝塚山考古学研究所が帝塚山大学考古学研究所に
改組、考古学談話会は市民大学講座へ

市民大学講座**第1回 「古代の人生とまじなひ」**

講師 奈良大学 水野 正好 氏

日程 平成9(1997)年10月4日(土)

貴社メディアにおかれましても、ぜひ趣旨をお汲み取りいただき、取材ならびに報道のご協力をくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。駐車場に限りがあるため、取材の場合は、お手数ですが事前にご連絡くださいますようお願い申し上げます。

**取材および
内容に関する
お問合せ**

帝塚山大学 入試広報課 〒631-8501 奈良市帝塚山7-1-1
Tel:0742-48-9149 E-mail:koho@jimu.tezukayama-u.ac.jp (担当:鈴木)

